

ワークライフバランス実現に向けた働き方の実例

働き方①家庭と仕事の両立

道路局 企画課 課長補佐（入省19年目）

家庭と仕事の両立のために、フレックスタイムやテレワークなどの両立支援制度や、家事代行などの民間サービスをフル活用しています。同僚や部下には育児中の職員も多く、相互にフォローし合いながら効率的に業務に取り組んでいます。個人的なライフワークとして、職務外のプロジェクトなどにも積極的に参加しています。



働き方②会議におけるデジタルツールの活用

港湾局 技術企画課 係長（入省4年目）

当課では、会議資料のデジタル配布や、オンライン併用とするなど、デジタルツールを活用した会議を実施しています。これらの取り組みにより、会議資料の印刷等の準備が不要になることや、職員の生活・業務の状況に合わせた出席方法を選択することができるなど、会議に関わる職員の業務負担が軽減出来ています。



働き方③二拠点居住について

北海道局 参事官付 開発専門官（入省13年目）

出先機関の北海道開発局配属時に北海道で自宅を取得し、昨年4月から本省勤務となり、現在、単身赴任しています。今の職場はWLBが整っており、小さい子供の育児サポートのため、月2回程度、北海道の自宅に計画的に帰省できています。私の所属部署は単身赴任者が多く、空港で上司や同僚にたびたび会います^^

